

令和3年4月5日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

映画「ソッキ」豊川市先行上映舞台挨拶が行われました
プレゼンターは未来の役者・地元高校演劇部員
～とよかわブランドのプレゼントと共に夢を紡ぐ～

4月2日から全国公開されている、蒲郡市を舞台とした映画「ソッキ」。上映にさきがけて、豊川コロナシネマワールドで竹中直人さんを始めとした3監督、出演者による先行上映舞台挨拶が下記のとおり開催されました。これは、愛知県での先行公開を記念し、3月27日から28日までの2日間にわたり、計10劇場での「愛知県横断舞台挨拶」を行ったものです。

豊川市では、全国に誇る「とよかわブランド」の「とよかわバラ・とよかわバウム」を豊川市観光協会・JAひまわりバラ部会・株式会社香月堂様のご協力の元で舞台挨拶に登壇される方々や会場のみなさんに配布しました。

プレゼンターは、登壇されるプロの方々と少しの時間でもふれあうことで、将来の夢へ一歩踏み出す架け橋となるよう、積極的に活動を行う国府・小坂井・豊川高校の演劇部代表生徒さんに依頼しました。

記

1. 舞台挨拶実施日時及び場所
令和3年3月27日（土）
午後12時30分～12時55分
豊川コロナシネマワールド
2. 舞台挨拶登壇者
松井玲奈さん（出演者）
竹中直人さん・斎藤工さん・山田孝之さんの3監督
3. 登壇者へのプレゼンター
豊川市 副市長 池田宏生
愛知県立国府高等学校（現3年生）荒川藍花（あらかわあいか）
愛知県立小坂井高等学校（現2年生）中村優来（なかむらゆな）
豊川高等学校（現2年生）長尾萌花（ながおもえか）
4. 豊川市オリジナルのプレゼントの内容
とよかわブランドとよかわバラ：登壇者・舞台挨拶回映画鑑賞者へ配布
とよかわブランドとよかわバウム：登壇者・舞台挨拶回映画鑑賞者へ配布
5. 写真の提供について
フォトセッションの際に撮影した集合写真は秘書課にあります。



当日のレポート

『ソッキ』発祥の地となる蒲郡市から愛知県へ、そして全国へ映画の魅力を伝えるべく実施する運びとなった今回の愛知県横断舞台挨拶。第二回目となる豊川コロナシネマワールドでの舞台挨拶では、地域プレゼンターとして豊川副市長の池田宏生さん、国府高校2年の荒川藍花（あらかわ あいか）さん、小坂井高校1年の中村優来（なかむら ゆな）さん、豊川高校1年の長尾萌花（ながお もえか）さんが登場。名産品としてとよかわブランドの「とよかわバラ」「とよかわバウムクーヘン」を登壇者の皆様に贈呈しました。

『ソッキ』まみれの劇場内をみた竹中監督は「本当に、劇場のみなさんありがとうございます。」と感謝の気持ちを口にしつつ場内に登場。お隣の豊橋でふるさと大使を務める松井さんは「豊橋に大きい映画館ができるまでは映画を観るときはここに来ていました。小さい頃は、ここに来ればなんでもあって楽しい場所と思っていました。」と豊川市の印象をコメントした。

普段は俳優として活躍される中、本作では監督業に専念された3監督。どのように演出をされていたのか、質問が投げかけられると、竹中監督は「完璧なキャスティングだったので、松井さんもスッとそこに立ってくだされば何も言うことは無いんです。」と役者陣へ絶大な信頼を寄せていたことを告白。松井さんは「竹中監督から、無機質な役だから瞬きだけ気をつけて。とひとつだけアドバイスを受けたことがありました。でも、私、ドライアイだから緊張しちゃって…」とお茶目なエピソードを披露。初監督に挑んだ山田監督は「なめられないように、全員ぶん殴ってやろうという気持ちで臨みました。押さえつける感じで。」と山田節全開でコメントすると、すかさず竹中監督が「俺も殴られました。」とノリノリに。場内には笑いが。

齊藤監督はそんな様子を見て、「このメンバー、ツッコミ不在なんです。そんな所もソッキっぽい。」と苦笑。「伴くん役の九条さんはお芝居が初めてだったので、伴くんは蒲郡の『ジョーカー』だから、と予告をたくさん見せていました。」と当時のエピソードを明かしつつ、「監督にゆだねてくれることも多かったのですが、僕以上に森さんがその役を担ってくれました。そのおかげで、ただ2人の空気を撮るだけで十分でしたね。」と伴くんの相棒、牧田役を演じた森さんとのコンビネーションを絶賛した。

SNS上で事前に寄せられた「幽霊のような女役を演じる上で意識したことは？」という質問が松井さんへ投げかけられると、「セリフが限られていたので、現場にいらしていた原作者の大橋さんにどういう意図があったのか聞いてみたんです。でも「あのキャラクターが出てきて、あのセリフをしゃべったら面白いかなと思って。」と一言。もう、それが全てなんだなと思って竹中監督の言う通りに、そこに立って映るのが正解だったんだと思って演じています。」と難しい役どころの撮影秘話を披露した。

愛知県での思い出の味は？という質問に、「(質問者と同じく)私も豊橋駅の地下にあるむらたのたこ焼きは思い出の味。」と地元民ならではの思い出を明かす松井さん。3監督は「空気の味。蒲郡は空気が違う」(竹中監督)、「ハイボールとか(笑)氷が違いますから。」(山田監督)、「具体的なんですけど、島正です。今日行きたかったんですけど、お休みでした…」(齊藤監督)とそれぞれが思い出の味を明かしている。

地域プレゼンターとして登場した池田副市長は「豊川市も撮影スポットはたくさんあるので、豊川市もぜひ。」と市をアピール。各校の演劇部を代表するプレゼンターたちが登場すると、松井さんは「私も高校時代演劇部だったので、演劇部員の方に会えて嬉しい」と学生時代を懐かしむ様子もみられる中、とよかわ

Press Release

記者発表資料



きらっと☆とよかわっ！

愛知県 豊川市

ランドの「とよかわバラ」「とよかわバウムクーヘン」を贈呈された。

最後に、山田監督は「まだ原作のお話はたくさんあるので、次も撮りたいねとみんなで話しています。その時はぜひ、豊川も含めて愛知県全体で。」と期待を寄せつつ、登壇者らは次の会場となるユナイテッド・シネマ岡崎へと向けて会場を後にしました。

【お問合せ先】

豊川市役所 企画部 秘書課 杉本、上ヶ市

TEL:0533-89-2121 Eメール: info@city.toyokawa.lg.jp